

2017年度 理事会：議事録

日 時：2017年8月25日(金) 15時00分～17時30分

場 所：立正大学 11号館 8階第6会議室

出席者：藤田主一理事長，谷口泰富副理事長
伊坂裕子，浮谷秀一，臼井伸之介，尾入正哲，上瀬由美子，軽部幸浩，川名好裕，北川公路，木村友昭，桐生正幸，田中真介，外島裕，深澤伸幸，古屋健，松浦常夫，松田浩平，向井希宏，森脇保彦，山本勝則（以上，理事）
加藤博己，田之内厚三（以上，監事）
垣本由紀子，長塚康弘，森下高治（以上，名誉会員）

事務局：宇部弘子（事務局長），市川優一郎（事務局長補佐），藤本太陽（幹事）

（敬称略，五十音順）

I 理事長挨拶（藤田主一理事長）

- ・理事会の出席者へ感謝の言葉が述べられ，配布資料の説明が行われた。

II 第84回大会委員長挨拶（古屋健大会委員長）

- ・明日から開催される第84回大会の説明と抱負が述べられた。

III 報告事項

1. 事業報告

1) 会員の移動および会費納入状況（宇部弘子事務局長）

- ・2017年3月31日現在，および2017年8月25日現在の正会員，学会会員，名誉会員，終身会員，賛助会員の人数が報告された。この間73名の会員減少であった。また2017年度の会費納入状況に加え，会員数（総会員数1,162名）についての説明があった。

2) 委員会報告

①機関紙編集委員会（深澤伸幸委員長）

- ・2017年度の『応用心理学研究』第43巻第1号を7月下旬に会員へ配本済みである。
- ・本年11月に配本予定の『応用心理学研究』第43巻第2号の掲載内容は，前年度実施された「公開シンポジウム」の内容を基本とし，他の紙面は投稿論文を掲載する予定である。

- ・委員長より査読を担当した諸先生へ感謝の言葉が述べられた。

②企画委員会（代読：川名好裕副委員長）

- ・前年度に行われた「公開シンポジウム」の内容は，本年11月に発刊予定である『応用心理学研究』第43巻第2号に掲載する。
- ・研修会Aは笠井仁，研修会Bは松本友一郎の両氏が担当である。今年度の「公開シンポジウム」の内容は追って公開する。

③広報委員会（田中真介委員長）

- ・『応用心理学のクロスロード』第9号を2017年3月に発刊した。
- ・メールニュースの配信，ホームページを更新した。
- ・『応用心理学のクロスロード』第10号の発刊準備中である。

④「応用心理士」認定審査委員会（外島裕委員長）

- ・「応用心理士」の申請は6名であり，委員会の審査により6名全員が認定基準に該当すると判断した。現在，手続き中である。

⑤国際交流委員会（代読：宇部弘子事務局長）

- ・ICAP2018における「若手研究者発表支援」についての説明があった。

⑥学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（伊坂裕子委員長）

- ・2017年度「日本応用心理学会賞」の「論文賞」は大谷亮氏「焦点化訓練が低学年児童の道路横断行動に及ぼす影響」，「奨励賞」は，成田智恵子氏・来田宣幸氏「伝統工芸士の職業継続要因とスキル習得に関する研究」が選考された。
- ・2016年度第83回大会「優秀大会発表賞」の選考の結果，第1部門では川合悟氏，第2部門では萩原広道氏，第3部門では大桐将氏，第4部門では中島正世氏，第5部門では渥美恵美氏，第6部門では鄭有希氏が筆頭著者とする各発表が選考された。

⑦学会活性・研究支援委員会（古屋健委員長）

- ・2016年度「若手会員研究奨励賞」は萩原広道，宮川裕基の両氏が選考された。

⑧倫理委員会（谷口泰富委員長）

- ・特になし。

⑨齊藤勇記念出版賞選考委員会（谷口泰富委員長）

- ・2016年度「齊藤勇記念出版賞」は岩崎久志氏（書籍名：ストレスとともに働く―事例から考えるこころの健康づくり―）が選出された。

⑩学会史編纂委員会（藤田主一理事長）

- ・学会史編纂委員会の活動内容について説明があった。

2. 一般社団法人日本心理学諸学会連合（日心連）について（谷口泰富副理事長）

- ・2017年6月25日（日）に開催された「第3回社員総会」の報告が行われた。
- ・日本心理学会連合は、今後の検討事項（公認心理師と心理学検定・大学院入試との関係、日本応用心理学会から提出されたWeb上の心理検査の倫理問題など）について、日心連内部でワーキンググループを作り、12月に中間報告を行う旨の説明があった。

3. 心理学検定について（代読：宇部弘子事務局長）

- ・2017年の受検申込者数について、全国31会場で約5,060名（前年4,550名）であり、東京会場の受検申込者数は1,537名（前年1,450名）であった。徐々に人数が増加していることの説明があった。
- ・第10回検定の変更点について説明があった。3科目受検者の退室時間が14:40から15:00に変更となった。
- ・心理学検定局常任運営委員に市川優一郎、軽部幸浩の両氏が新たに加わったことが報告された。

4. 2016年第83回大会報告（山本勝則大会委員長）

- ・大会の概要、大会収支の報告があった。また関係各位に感謝の言葉が述べられた。

5. 日心連への上申書について（藤田主一理事長）

- ・一般社団法人日本心理学諸学会連合へ上申書を提出し（Web上に無断公開されている心理検査等の倫理的配慮について）、日心連の子安増生理事長から回答があった旨の報告があった。

6. 熊本地震に対する本学会からの寄付について（宇部弘子事務局長）

- ・熊本地震義援金の内訳について説明があった。

7. 機関誌・大会発表論文集の電子化について（宇部弘子事務局長）

- ・J-STAGEへの掲載について説明があった。

8. 理事・監事選挙について（宇部弘子事務局長）

- ・選挙人名簿の確定から開票までの日程について説明があった。

9. その他

- ・特になし。

IV 審議事項

1. 2016年度決算に関する件（宇部弘子事務局長）

- ・2016年度決算書の説明が行われ、監査報告があった。審議の結果、承認された。

2. 2017年度予算に関する件（宇部弘子事務局長）

- ・2017年年度予算書（案）の説明が行われ、審議の結果、承認された。

3. 学会賞選考細則に関する件（伊坂裕子委員長）

- ・学会賞選考細則について、「論文賞は原著論文」の事項を「論文賞は原著論文または総説論文」へ変更したい旨の報告があり、審議の結果、承認された。

4. 若手会員研究奨励賞規程に関する件（古屋健委員長）

- ・若手会員研究奨励賞規程の説明が行われ、審議の結果、承認された。

5. 名誉会員推挙に関する件（藤田主一理事長）

- ・資料に基づき、名誉会員候補者に小野浩一氏を推挙したい旨の報告があり、審議の結果、承認された。明日の総会で審議され、承認された場合、名誉会員証を授与する。

6. 2019年度第86回大会（大会当番機関）に関する件（藤田主一理事長）

- ・第86回大会を日本大学商学部（大会委員長：外島裕氏）にて開催することが提案され、承認された。

V 2018年度第85回大会委員長挨拶（臼井伸之介大会委員長）

- ・2018年8月25日（土）・26日（日）の両日に、大阪大学において開催される旨の挨拶があった。

2017年度 総会：議事録

日 時：2017年8月26日（土）11時45分～13時00分

場 所：立正大学 11 号館 5 階第 1151 教室

司会進行：宇部弘子事務局長

I 理事長挨拶（藤田主一理事長）

- ・総会の出席者へ感謝の言葉が述べられた。

II 第 84 回大会委員長挨拶（古屋健大会委員長）

- ・大会参加者へ感謝の言葉が述べられた。

III 議長選出（宇部弘子事務局長）

- ・古屋健大会委員長が議長を務めることが承認された。

IV 報告事項

1. 事業報告

1) 会員の移動および会費納入状況（宇部弘子事務局長）

- ・2017 年 3 月 31 日現在、および 2017 年 8 月 25 日現在の正会員、学会会員、名誉会員、終身会員、賛助会員の人数（総会員数 1,162 名）が報告された。この間 73 名の会員減少であった。また 2017 年度の会費納入状況に加え、会員数についての説明があった。

2) 委員会報告

①機関紙編集委員会（深澤伸幸委員長）

- ・2017 年度の『応用心理学研究』第 43 巻第 1 号を 7 月下旬に会員へ配本済みである。
- ・本年 11 月に配本予定の『応用心理学研究』第 43 巻第 2 号の掲載内容は、前年度実施された「公開シンポジウム」の内容を基本とし、他の紙面は投稿論文を掲載する予定である。
- ・電子投稿を開始して 4 年経過し、現時点で 171 本の投稿論文を受け付けている。現在審査中の論文は 22 本で、査読作業は迅速かつ順調に進んでいる。

②企画委員会（代読：川名好裕副委員長）

- ・前年度に行われた「公開シンポジウム」の内容は、本年 11 月に発刊予定である『応用心理学研究』第 43 巻第 2 号に掲載する。
- ・研修会 A は笠井仁、研修会 B は松本友一郎の両氏が担当である。今年度の「公開シンポジウム」の内容は追って公開する。

③広報委員会（田中真介委員長）

- ・『応用心理学のクロスロード』第 9 号を 2017 年 3 月に発刊した。
- ・メールニュースの配信、ホームページを更新した。

- ・『応用心理学のクロスロード』第 10 号の発刊準備中である。

④「応用心理士」認定審査委員会（外島裕委員長）

- ・「応用心理士」の申請は 6 名であり、委員会の審査により 6 名全員が認定基準に該当すると判断した。現在、手続き中である。

⑤国際交流委員会（代読：宇部弘子事務局長）

- ・ICAP2018 における「若手研究者発表支援」についての説明があった。

⑥学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（伊坂裕子委員長）

- ・日本応用心理学会「学会賞」（論文賞と奨励賞）がそれぞれ 1 論文ずつ決定した。
- ・2016 年度第 83 回大会「優秀大会発表賞」の選考の結果、6 部門それぞれが決定した。受賞者は本日の懇親会にて表彰される。
- ・本日と明日の両日、今大会の「優秀大会発表賞」の投票を受け付けている。

⑦学会活性・研究支援委員会（古屋健委員長）

- ・2016 年度「若手会員研究奨励賞」は 2 名が決定した。受賞者は本日の懇親会にて表彰される。

⑧倫理委員会（谷口泰富委員長）

- ・特になし。

⑨齊藤勇記念出版賞選考委員会（谷口泰富委員長）

- ・2016 年度「齊藤勇記念出版賞」は岩崎久志氏（書籍名：ストレスとともに働く一事例から考えるこころの健康づくり―）が選出された。

⑩学会史編纂委員会（藤田主一理事長）

- ・学会史編纂委員会の活動内容について説明があった。

2. 一般社団法人日本心理学諸学会連合（日心連）について（谷口泰富副理事長）

- ・2017 年 6 月 25 日（日）に開催された「第 3 回社員総会」の報告が行われた。
- ・日本心理学会連合は、今後の検討事項（公認心理師と心理学検定・大学院入試との関係、日本応用心理学会から提出された Web 上の心理検査の倫理問題など）について、日心連内部でワーキンググループを作り、12 月に中間報告を行う旨の説明があった。

3. 心理学検定について (小林剛史常任運営委員)
 - ・2017 年の受検申込者数について、全国 31 会場で約 5,060 名 (前年 4,550 名) であり、東京会場の受検申込者数は 1,537 名 (前年 1,450 名) であった。徐々に人数が増加していることの説明があった。
 - ・第 10 回検定の変更点について説明があった。3 科目受検者の退室時間が 14:40 から 15:00 に変更となった。
 - ・心理学検定局常任運営委員に市川優一郎、軽部幸浩の両氏が新たに加わったことが報告された。
4. 2016 年第 83 回大会報告 (山本勝則大会委員長)
 - ・大会の概要、大会収支の報告があった。また関係各位に感謝の言葉が述べられた。
5. 日心連への上申書について (藤田主一理事長)
 - ・一般社団法人日本心理学諸学会連合へ上申書を提出し (Web 上に無断公開されている心理検査等の倫理的配慮について)、日心連の子安増生理事長から回答があった旨の報告があった。
6. 熊本地震に対する本学会からの寄付について (宇部弘子事務局長)
 - ・熊本地震義援金の内訳について説明があった。
7. 機関誌・大会発表論文集の電子化について (宇部弘子事務局長)
 - ・J-STAGE への掲載が採択され、平成 30 年以降に公開される予定である。
8. 理事・監事選挙について (宇部弘子事務局長)
 - ・選挙人名簿の確定から開票までの日程について説明があった。
9. その他
 - ・特になし

V 審議事項

1. 2016 年度決算に関する件 (宇部弘子事務局長)
 - ・2016 年度決算書の説明が行われ、監査報告があった。審議の結果、承認された。
2. 2017 年度予算に関する件 (宇部弘子事務局長)
 - ・2017 年年度予算書 (案) の説明が行われ、審議の結果、承認された。
3. 学会賞選考細則に関する件 (伊坂裕子委員長)
 - ・学会賞選考細則の説明が行われ、審議の結果、承認された。

果、承認された。

4. 若手会員研究奨励賞規定に関する件 (古屋健委員長)
 - ・若手会員研究奨励賞規定の説明が行われ、審議の結果、承認された。
5. 名誉会員推挙に関する件 (藤田主一理事長)
 - ・名誉会員候補者として、小野浩一氏が推挙され、承認された。
6. 2019 年度第 86 回大会 (大会当番機関) に関する件 (藤田主一理事長)
 - ・第 86 回大会を日本大学商学部 (大会委員長: 外島裕氏) にて開催することが提案され、承認された。
7. その他
 - ・藤田主一理事長より、事務委託業者の見直しを検討することについて説明が行われた後、業者の選定を常任理事会に一任することが提案され、承認された。
- VI 議長退任 (宇部弘子事務局長)
 - ・古屋健大会委員長が議長を退任し、宇部弘子事務局長が再度司会を務めた。
- VII 名誉会員証の授与 (藤田主一理事長)
 - ・小野浩一氏に名誉会員証が授与された。
- VIII 学会賞の表彰 (藤田主一理事長)
 - ・「学会賞」の論文賞と奨励賞の表彰が行われた。
- IX 2018 年度第 85 回大会委員長挨拶 (臼井伸之介大会委員長)
 - ・2018 年 8 月 25 日 (土)・26 日 (日) の両日に、大阪大学において開催される旨の挨拶があった。

2017 年度 第 3 回常任理事会: 議事録

日 時: 2017 年 8 月 27 日 (日) 11 時 45 分~13 時 00 分

場 所: 立正大学 11 号館 5 階第 6 会議室

出席者: 藤田主一理事長
伊坂裕子, 角山剛, 田中真介, 外島裕, 古屋健, 深澤伸幸, 蓮花一己 (以上, 常任理事)
小林剛史 (心理学検定常任運営委員)
軽部幸浩 (広報委員会副委員長)

事務局: 宇部弘子 (事務局長), 市川優一郎 (事

務局長補佐), 藤本太陽 (幹事)

(敬称略)

I 報告事項

1. 理事長挨拶 (藤田主一理事長)

- ・第 84 回大会の古屋健大会委員長への御礼が述べられた。また、昨日行われた理事会、総会が無事に終了したことについて、常任理事の諸先生に感謝の言葉が述べられた。

2. 各委員会報告

- ①機関誌編集委員会 (深澤伸幸委員長)
 - ・特になし。
 - ②企画委員会 (角山剛委員長)
 - ・特になし。
 - ③広報委員会 (田中真介委員長)
 - ・特になし。
 - ④「応用心理士」認定審査委員会 (外島裕委員長)
 - ・特になし。
 - ⑤国際交流員会 (蓮花一己委員長)
 - ・特になし。
 - ⑥学会賞選考委員会 (優秀大会発表賞を含む) (伊坂裕子委員長)
 - ・特になし。
 - ⑦学会活性・研究支援委員会 (古屋健委員長)
 - ・特になし。
 - ⑧倫理委員会 (代読: 宇部弘子事務局長)
 - ・特になし。
 - ⑨齋藤勇記念出版賞選考委員会 (代読: 宇部弘子事務局長)
 - ・特になし。
 - ⑩学会史編纂委員会 (藤田主一理事長)
 - ・特になし。
3. 一般社団法人日本心理学諸学会連合 (日心連) について (代読: 宇部弘子事務局長)
- ・特になし。
4. 心理学検定について (小林剛史心理学検定常任運営委員)
- ・2017 年の受検申込者数は 5,063 名であったが、実際に受検を受けた者は 4,437 名であり、実際の受検率は 87.6%であった。例年通りの受検率であることが説明された。
5. 2017 年第 84 回大会報告 (古屋健大会委員長)
- ・当日参加は 100 名程度であったと報告された。

6. 2018 年第 85 回大会について (臼井伸之介大会委員長)

- ・特になし。

II 審議事項

1. 決算の件 (宇部弘子事務局長)
 - ・特になし。
2. 予算の件 (宇部弘子事務局長)
 - ・特になし。
3. ゆうちョダイレクト (月額利用無料のインターネットバンキング) の件 (宇部弘子事務局長)
 - ・ゆうちョダイレクトの使用に関して、審議され、承認された。
4. 新入会委員審査および会員移動に関する件 (宇部弘子事務局長)
 - ・2017 年 8 月 17 日現在の会員数の報告 (総会員数 1,162 名) があった。
 - ・鷹阪龍太氏、高田治樹氏、宮田延実氏、小原敏郎氏の 4 名の新入会が認められた。

III その他

- ・特になし。

2017 年度 臨時常任理事会: 議事録

日 時: 2017 年 9 月 17 日 (日) 13 時 00 分~16 時 00 分

場 所: 日本体育大学 5 階 中会議室

出席者: 藤田主一理事長, 谷口泰富副理事長
伊坂裕子, 角山剛, 外島裕, 古屋健, 深澤伸幸 (以上, 常任理事)
臼井伸之介 (第 85 回大会委員長)
軽部幸浩 (広報委員会副委員長)

事務局: 宇部弘子 (事務局長), 市川優一郎 (事務局局長補佐), 藤本太陽 (幹事)

(敬称略)

I 報告事項

- ・臨時常任理事会の開会に先立ち、藤田理事長より出席者へ御礼の挨拶があった。

II 審議事項

1. 事務委託業者の見直しの件 (藤田主一理事長)
 - ・藤田理事長より、事務委託業者の見直しについての提案があり、審議の結果、承認された。

III その他

- ・特になし。

2017 年度 臨時常任理事会：議事録

日 時：平成 29 年 10 月 15 日(日) 14:00～15:40
場 所：日本体育大学世田谷キャンパス 5 階
2505 小会議室

出 席 者：藤田主一理事長，谷口泰富副理事長
外島裕，深澤伸幸，古屋健（各常任理
事）

委任状提出者：伊坂裕子，角山剛，田中真介，蓮花
一己（各常任理事）

陪 席 者：金井重彦（弁護士），市川優一郎，軽部
幸浩（各理事）（敬称略）

議題

- (1) 臨時常任理事会の開会に先立ち，藤田理事長より出席者へ御礼の挨拶があった。
- (2) 藤田理事長より，本日の「審議事項」に法律の専門家の立場から助言いただく必要があるため，金井弁護士の陪席を許可いただきたい旨の要請があった。
- (3) 同じく，議事録の作成及び事実関係の確認のため，市川理事，軽部理事の陪席を許可いただきたい旨の要請があった。
- (4) 上記 (2)(3) は，常任理事全員から承認された。

〔審議事項〕事務局体制（事務局長交代）の件：

藤田理事長より，配布資料に基づき，宇部弘子事務局長の業務遂行に係るこれまでの経緯，並びに現状の説明があった。続いて，宇部事務局長から提出された「日本応用心理学会の事務局長に対する委任の解除を求めます」との申し出に対し，その取り扱いをめぐる金井弁護士から助言があった。各常任理事による審議の結果，本学会として宇部事務局長を「解任」することが承認された。なお，「解任通知書」は金井弁護士を代理人として平成 29 年 10 月 16 日付で作成し，同日，金井弁護士から宇部事務局長宛に内容証明郵便で送付することになった。

「解任通知書」を郵送する平成 29 年 10 月 16 日から，内容証明郵便の配達証明書が届くまでの間，市川理事を本学会事務局長代行とすること，また配達証明書の年月日から平成 30 年 3 月 31 日までの間，同事務局長代行を本学会事務局長に任命することが承認された。

以上

2017 年度 第 4 回常任理事会：議事録

日 時：2017 年 12 月 3 日(日) 14 時 00 分～17 時
00 分

場 所：日本体育大学 5 階 中会議室 (2501)

出 席 者：藤田主一理事長，谷口泰富副理事長
伊坂裕子，角山剛，古屋健（以上，常任
理事）

白井伸之介（第 85 回大会委員長）

軽部幸浩（広報委員会副委員長）

事 務 局：市川優一郎（事務局長）

（敬称略）

I 報告事項

1. 理事長挨拶（藤田主一理事長）
 - ・常任理事会に出席された先生方へ感謝の言葉が述べられた。
2. 新事務局長挨拶（市川優一郎事務局長）
 - ・新事務局長より就任の挨拶が述べられた。
3. 各委員会報告
 - 1) 機関誌編集委員会（代読：市川優一郎事務局長）
 - ・『応用心理学研究』43 巻 2 号は，12 月の中旬には配布予定である。
 - ・第 43 巻 3 号は，通常の投稿論文で構成する予定である。
 - ・電子投稿の運用を開始して 4 年が経過した時点で，177 本の原稿を受け付けた。現在審査中の論文は 21 本である。
 - ・今後の受付予定として，次年度は常任理事の改選期に当たるので，2017 年 12 月 20 日で一時的に投稿論文の受付を中止する予定である。この措置はメールニュース，機関誌を通じて会員各位に周知した。なお受付再開は，新体制発足後の 2018 年 5-6 月を予定している。
 - 2) 企画委員会（角山剛委員長）
 - ・平成 28 年度「公開シンポジウム」は，「暴力的な絆はなぜ生じるのか；DV の予防に向けて」（後援：帝塚山大学）というテーマで開催した。
 - ・平成 28 年度「公開シンポジウム」の原稿は，シンポジストの点検を経て機関誌編集事務局に提出済みである。

- 3) 広報委員会（代読：軽部幸浩広報委員会副委員長）
 - ・『応用心理学会のクロスロード』第10号の目次構成表と発刊までのスケジュールについて説明があった。
- 4) 「応用心理士」認定審査委員会（代読：市川優一郎事務局長）
 - ・特になし。
- 5) 国際交流委員（代読：市川優一郎事務局長）
 - ・ICAP2018 第29回国際応用心理学会における若手研究者発表支援についての説明があった。
- 6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（伊坂裕子委員長）
 - ・次期委員会への引継ぎ事項として、①優秀大会発表の投票数を増加させる工夫の検討、②学会賞の新しい枠組みの検討、などが考えられる。
- 7) 学会活性・研究支援委員会（古屋健委員長）
 - ・若手研究奨励賞の応募数を増やすための方法について検討する必要がある。
- 8) 倫理委員会（谷口泰富委員長）
 - ・特になし。
- 9) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（谷口泰富委員長）
 - ・齊藤勇記念出版賞の案内を2017年中に1回、2018年3月までに2回行う予定である。
- 10) 学会誌編集委員会（藤田主一理事長）
 - ・今年度中に4名の名誉会員の先生方にインタビューを行う予定である。
- 11) 選挙管理委員会（市川優一郎事務局長）
 - ・理事・監事選挙結果について報告があった。理事27名、監事2名が選出された。
4. 日本心理学諸学会連合について（谷口泰富副理事長）
 - ・2017年12月17日に社員総会が開催されるので、その報告を次回の常任理事会で行う予定である。
5. 心理学検定について（代読：藤田主一理事長）
 - ・2017年8月20日に行われた心理学検定についての報告が行われた。
6. 第84回大会について（古屋健大会委員長）
 - ・決算報告は、次回の常任理事会で報告を行う

予定である。

- ・発表辞退の対処方法に関して、今後検討していく必要がある。

7. 第85回大会について（臼井伸之介大会委員長）
 - ・2018年8月25日、26日に開催すること、また現在までの組織体制、大会HPなどの進捗状況について説明があった。
8. 機関誌、大会発表論文集の電子化・公開について（軽部幸浩広報委員会副委員長）
 - ・平成30年度から電子化・公開する予定である。
9. その他
 - ・特になし。

II 審議事項

1. 顧問弁護士の件（藤田主一理事長）
 - ・日本応用心理学会の顧問弁護士として「金井法律事務所（金井重彦弁護士）」と契約することが提案され、審議の結果、承認された。
 2. 国際ビジネス研究センターとの業務委託契約の件（藤田主一理事長）
 - ・業務委託契約書（案）、仕様書について提案があり、審議の結果、承認された。
 3. 推薦理事並びに今後の選挙日程の件（藤田主一理事長）
 - ・推薦理事の選出、今後の選挙日程についての説明があった。推薦理事9名の候補者が提案され、審議の結果、承認された。
 - ・常任理事選挙は、1月中旬に投票用紙を発送し、2月初旬に締め切り、2月中旬に開票する予定である。
 4. 優秀大会発表賞選考の件（伊坂裕子委員長）
 - ・第84回大会優秀発表賞の審査方針が説明された後、以下の各部門の候補が推薦され、審議の結果、承認された。（敬称略）
- [第1部門] 原理・認知・感情
『眼球運動指標を用いた虚偽検出』
片岡杏友（駒澤大学大学院人文科学研究科）・小野洋平（駒澤大学文学部）・谷口泰富（駒澤大学文学部）
- [第2部門] 教育・発達・人格
『幼少期初期における「じぶん」の認識について―「じぶん」をどのように見ているのか―』
高木玉江（大阪健康福祉短期大学子ども福

祉学科)

[第3部門] 臨床・福祉・相談

『特別養護老人ホームに勤務する介護職員の
職場への帰属感覚が就業意向に与える影響』

松田祐輝 (帝塚山大学心理科学研究科)

[第4部門] 健康・スポーツ・看護・医療

『看護師の初期キャリア発達における組織コ
ミットメントの受容』

竹内久美子・松下由美子 (佐久大学看護学
部)

[第5部門] 犯罪・社会・文化

『海外旅行における不正な保険金請求の検討 1
—保険金請求内容の基礎的分析—』

染矢瑞枝・阿部光弘 (三井住友海上火災保
険株式会社)・入山茂 (東洋大学大学院社
会学研究科)・桐生正幸 (東洋大学心理学
部)

『海外旅行における不正な保険金請求の検討 3
—海外旅行保険商品を対象とした分析—』

入山茂 (東洋大学大学院社会学研究科)・
阿部光弘・染矢瑞枝 (三井住友海上火災保
険株式会社)・桐生正幸 (東洋大学心理学
部)

[第6部門] 産業・交通・災害

『多元的無知のプロセスにおける心理学的安
全風土知覚の調整効果』

宮島健 (九州大学大学院人間環境学府)

5. 日本心理学会クレジットカードによる年会費徴
収の件 (市川優一郎事務局長)

・日本心理学会からのクレジットカードによる
年間費徴収に関する意向調査について説明が
あった。現在は保留中である。次年度の総会
を経て最終的な決定を行う。

6. 新入会員審査および会員異動に関する件 (市川
優一郎事務局長)

・2018年11月21日現在の会員数は、一般会
員1,094名、院生会員66名、学生会員2名、
名誉会員33名、終身会員50名、賛助会員2
名である。

・7名の一般会員、2名の院生会員、1名の学
生会員の申請があり、9名が承認された。

渡辺綾子、植松由香、浦崎好太郎、畠中香
織、田中秀樹、藤原勇、広沢正孝、中村美
幸、小林浩志 (敬称略)

※次回の常任理事会は、2018年3月18日(日)に
日本体育大学で開催する。